

## テレ東、海・山の環境を守る「ウミモリ活動」が 「Media is Hope AWARD 2025 年間媒体賞」を受賞

テレビ東京は、気候変動やSDGs（持続可能な開発目標）に貢献するメディアや企業の連携を支援する社団法人Media is Hopeから「Media is Hope AWARD 2025 年間媒体賞」を受賞しました。



4月16日に国連大学で行われた「気候変動メディアシンポジウム2026」での受賞の様子  
「テレ東ウミモリ活動」メンバー（左から）川島涼、渡部晶子、野田雄輔、進藤隆富

「Media is Hope AWARD」は、気候変動やSDGsといった社会課題解決へ貢献するメディア／ジャーナリスト／コンテンツの功績を讃える賞です。

受賞対象は海洋や森林の自然環境の保全を広げていくテレビ東京の「ウミモリ活動」など、サステナビリティ活動や番組に対してです。「ウミモリ活動」では、日本の海で進む「砂漠化」の問題や、海藻を増やして大気中のCO<sub>2</sub>を吸収する「ブルーカーボン」を創出する取り組みを特別番組『Blue Dream』で2回にわたって放送しました。また企業や官庁、自治体の関係者を集めた討論イベント等を通じて、問題意識の醸成と課題解決に向けたネットワークを広げる活動を手掛けるなど、テレビ局の枠を超えた環境保全活動に積極的にチャレンジしていることが、評価されました。

ほかにもサステナビリティ活動の一環として、CO<sub>2</sub>排出の相殺に活用できる「Jブルークレジット」を購入したほか、福岡県・糸島市や、島根県・松江市など日本各地で進んでいる「藻場再生」プロジェクトに参画しています。

【テレ東ウミモリ活動について】

「ウミモリ活動」は、テレビ東京のサステナビリティ委員会下のSDGs活動の一つとして、2025年に社内公募でスタートしました。全国の自治体や企業と連携し、海や森の生態系について、イノベーションや新たな市場を生み出しながら持続可能な形で守っていくことを目指しています。また、志ある方々を番組やイベントを通じてつなげる活動をしています。



特別番組『Blue Dream 海と森の守り人たち』は日本の美しい自然の異変を追跡し、荒れ果てた森、魚が消え「砂漠化」した海を取材。そんな状況を再生すべく青き志＝ブルードリームを持って、自然を守る人たちの奮闘に密着する、ドキュメンタリー番組です。

第1回 2025年9月15日(月・祝)12:00～放送

第2回 2025年12月14日(日)16:00～放送

・テレ東ウミモリ活動公式サイト <https://umimori.tv-tokyo.co.jp/>

【受賞理由】

番組での発信に加え脱炭素対策も積極的に実践し、再現性ある気候変動対策を紹介している。「テレ東ウミモリ活動」では、企業や自治体の奮闘を取材した特番『Blue Dream (ブルードリーム)』を2回放送。さらに藻場再生やJブルークレジット購入など、テレビ局の枠を超えた環境保全の社会実装にチャレンジしている。他にもキー局初のネイチャーポジティブ特番『ネイチャートラベラー』や『ガイアの夜明け』でも温暖化の現状、解決に向けた取組みを継続的に発信。特別番組『東京湾のごみぜんぶ拾う大作戦』では視聴者の反響を受け続編を制作するなど、視聴者とのエンゲージの強い関係性を実現したことなどが評価された。

【社団法人Media is Hope について】

社団法人Media is Hopeは、気候変動を解決できる社会を実現するために、気候変動の報道の強化に繋がるサポートを行う非営利組織。メディア関係者や国連などの国際機関、専門家や実践者、市民や若者と共に、気候変動解決に求められる報道の在り方を議論する「気候変動メディアシンポジウム」など、各ステークホルダーが繋がり共創する場を提供しています。Media is Hope AWARDは、視聴者・読者が気候変動問題を「身近な問題」として捉えられるよう、発信に取り組むメディア／ジャーナリスト／コンテンツの功績を讃える賞として、毎年実施しているものです。

以上